

市政報告 9月定例会

(平成20年9月3日～10月2日)

神倉通信 9月

「努力した人が報われる社会に」

秦野市議会議員

神倉ひろあき

かみくら ひろあき



●昨年8月、あの猛暑のなかでの市議会議員選挙において、皆様からの熱きご声援を賜わり、早くも1年が過ぎ去りました。この間、5回の議会において、一般質問を中心に、教育・防災・福祉等、多岐に亘りさまざまな課題を取り上げ、市行政当局と論議を交わしてまいりました。

特に、市民の皆様にご支援をいただき一定の成果をあげることが出来ました。有難うございました。今後とも、市民生活に直結する問題を取り上げ、住みよい秦野を目指し鋭意努力する所存です。よろしくお願ひ致します。

●9月議会における一般質問は、6月議会に引き続き「学校の耐震化」を、もう一つは「職場体験学習とキャリア教育」の2つをテーマに取り上げました。また、決算特別委員会では、ほぼ全分野において、さまざまな問題を質しました。以下、個別に概要を掲載します。

●一般質問(平成20年9月8日)

1. 「学校の耐震化」……タイムスケジュール見えず！ 行政は、市民の負託に応えよ！

問：四川大地震、岩手・宮城内陸地震以来、学校の耐震化が声高となり、子ども達の安心・安全が、一段とクローズアップされ、全国的に学校耐震化への取り組みが迫られている。地震防災対策特別措置法の改正等から、自治体の耐震化にかかる財政負担は、1割強となった。学校は、子ども達の学習と生活の場であり、広域避難場所でもある。また、本市は、大型地震に見舞われる可能性も高い。にもかかわらず、耐震未整備の本町中学校第2、第3棟。西中学校第1棟について、6月議会で耐震化等の対策を質したが、具体的な今後の計画等について明言を避けた。6月議会後の耐震改修等の検討経過及び今後の計画を伺いたい。

問：本町中学は、建替えと言うが、建替えに、約4年かかるという。それまでの間は、どうするのか。

問：本町中学校、西中学校のIS値(構造耐震指標)は、いくつか。(IS値は、0.31と0.24である。)

問：震度6強の地震が起きた時、0.3未満の場合は倒壊の恐れ大である。このことをPTA等は知っているのか。公共施設の新基準はIS値0.75である。

問：地震防災対策特別措置法が改正され、「学校耐震化加速に関する通知」が出た。「IS値0.3未満の施設の耐震化に緊急に取り組んでいただきたい。」とある。明確なタイムスケジュールが出ていない。いつまでに出るのか。

●保護者から届いた手紙「市の学校耐震化対応について」を読み、市長に質問しました。

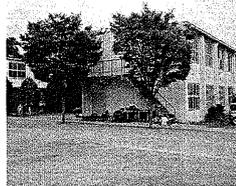
このやり取りを、タウンニュースが取り上げ
9月25日(木)の第一面に掲載しました。

中学校の耐震化未整備

本町中 新校舎建設へ

西中は基準を満たした校舎へクラスを移動

耐震化未整備の本町中学校舎



本町中学校と西中学校の一部の校舎が、耐震基準を満たしていない耐震化未整備問題で、本町の老朽化している建物について、新しい校舎を建設することが分かった。西中は耐震基準を満たしている校舎にクラスを移動させ、生徒の安全確保を図ることになった。

市議会9月定例会の一般質問で、神倉寛明市議(秦野)が質した。本町中の耐震基準を満たしていない第2棟・第3棟について古谷義幸市長は「基本的には新しい校舎を建設する。効率的、経済的な校舎をいかに早く建設することができると、教育委員会に検討をお願い」と指摘した。

生徒数が減少傾向にある西中については、基準を満たしている校舎の余裕教室に内装工事を施し、生徒を緊急的に移動。今年度中に工事を完成させる予定だ。耐震化未整備の第1棟については、建替えるべきかの判断基準になる耐力度調査を実施しておらず、調査を行ってからの検討するという。

行方よう指示した」と答弁。新校舎建設には設計に1年半から2年、解体工事・本体工事に1年半から2年という期間がかかる。神倉市議は「具体的なタイムスケジュールが出ていない。緊急避難的な措置・対策は考えていないのか。もっと早急にやってもらいたい」と指摘した。

2. 「職場体験学習とキャリア教育」

問:行政視察で、福島市の「地域に学ぶ中学生体験活動事業」の調査をした。この事業は、全市立中学校2年生全員を対象に5日間の職業的な体験を実施し、自立心・自律心を養い勤労観を高め、生き方を見つけると共に、地域の人達とのふれあいを通して人間性や社会性を身に付けるもので平成13年より実施している。教育委員会と市部局が一体となって取り組んでおり福島市の重点施策の一つに位置付けている。生徒・保護者・事業主は勿論、文科省が推進する5日間の職場体験の実践事業としての評価も高い。このような体験活動を教育課程に位置づけることは意義がある。体験学習・キャリア教育の現状はいかがか。

回答:小学校では、職場見学が13校全校で、一日職場体験は5校で実施。中学校は、職場見学が2校、1日職場体験は8校で実施している。総合的な学習の時間で、農園・商店・公共施設等を活用。

問:自我が目覚める中学生を対象に、5日間の職場体験学習は、検討に値する。本市の考えを伺いたい。

回答:本県では、6市1町が取り組んでいる。先行研究の成果と課題に鑑みて検討したい。

問:検討とは、前向きに進めると言うことである。本市の「総合計画の教育」欄や「秦野の教育」を見ても秦野らしさを貫く一本の棒のような企画がない。秦野の教育といえば、「これこれだ」と言えて、県の内外に誇れる企画が欲しい。いかがか。

回答:里地里山を活用した自然体験活動をキャリア教育と結び付けたい。

● 「決算特別委員会」での質問。(平成20年9月11日～18日)……議事録に載っています。

1総務費①市民相談事業費：食の安心安全問題がある。国・県との関係機関との連携を強調。

②自転車等放置防止対策事業費：地球温暖化対策のためにも駅前駐輪場の整備・拡充要請。

③防犯灯維持費補助金：発光ダイオードでコスト削減を要請。青色街路灯で防犯を高める要請。

④庁舎維持管理費：IP電話の導入で、電話料が年間60万も上昇、おかし。意識改革を！

2民生費①シルバー人材センター運営費補助金：年2000万補助、市民から誤解を受けないよう会員の指導を！

②子ども相談事業費：事業費が対前年2.5倍の理由を質す。生徒指導は山積、他機関との連携を。

③幼保一体化推進事業費：待機児童問題。空保育園問題。今後の一体化方向。幼保小中一貫教育。

④交流と連帯活動推進事業費：参加人数が減少している。スポーツ少年団や学校との連携。

⑤生活保護費：自立支援体制。市町村レベルでの認定のばらつき問題。

3衛生費①2次救急診療事業費：2次救急の赤十字病院は、医師・看護師の確保が出来ているか？

②秦野赤十字病院整備支援事業費：様々な問題があるが、市民病院的役割を果たすよう連携強化する。

③不法投棄防止対策費：監視カメラ設置の効果。④低公害車等普及事業費補助金：普及拡大にむけて。

4商工費①秦野商工会議運営費：本来の商工・工業の発展振興への寄与に努力。

②福利厚生向上事業補助金：毎年増加、その経緯は？健康増進等のプログラムを導入すべきである。

③たばこ祭り補助金：これ！と言う目玉を作る必要性。企画に市民の参加。他県の企画が目玉では？

④観光協会補助金：商工会議所との連携と企画立案コンサルタント活用。

5土木費①街路樹管理等委託費：街路樹3600本、公園200弱の剪定。

②屋外広告物許可等事務費：H17年県より委譲。罰則規定。事業所に対する公平性を保つべきである。

③バス輸送力確保対策事業費：フルト号の運行、地域公共交通会議の設置・開催と問題点。

6消防費①救急活動業務費：救急出動で場所が直に特定できる住居表示の徹底。

②緊急情報メール配信事業：加入者数。緊急地震速報のメール対応。登録向上・啓発。

7教育費①教育委員会運営費：課題山積にあつて月1回・半日の会議は少ない。教育委員の事務局依存体制からの脱却。地方行法にある業務の点検・評価・議会報告。秦野の教育の在り方。

③学校建設公社貸付金：設備・備品等の老朽化対応。耐震対応の学校との連携(学校の危機管理意識)

8下水道事業特別会計①健全化判断比率及び資金不足比率から資金不足なし、と言うが毎年約22億一般会計から繰り入れている。②連結実質赤字比率の早期健全化規準。③扶助費の増、投資的経費の減。

9国民健康保険事業特別会計①不納欠損額の大幅増加。②納税義務と公平性。③担当人員増加等。

●一般質問の詳細は、「秦野市議会HPにて録画配信しています。」是非ごらんください。

●今後共、神倉ひろあき は、一市民として、いま何が問題で、どんな課題があるのか、それをどう解決するのか、という問題意識を常に持ち、秦野市が、住みやすい街になるよう努力してまいります。

●ご意見・ご感想大募集…神倉ひろあき に対する、ご意見なんでもどしどしお寄せ下さい。

〒259-1322 秦野市渋沢 2-5-13 TEL & FAX 0463.88.3655 携帯:090-3533-8034

Eメール kamikura5@yahoo.co.jp 神倉ひろあき 市政報告(政務調査報告) 平成20年9月定例会